

リョービグループ 人権方針

1. 基本的な考え方

リョービグループ（以下、「リョービ」）は、企業理念の要素である経営姿勢「社会との信頼関係を大切に、社員の個性と創意が活かされた活力ある企業を築く。」のもと、事業活動のあらゆる側面において、全ての人々の人権を尊重することを重要な経営課題と認識しています。私たちは、国際的な人権規範である「世界人権宣言」「ビジネスと人権に関する指導原則」をはじめとする関連規範を支持し、事業活動を行う各国・地域の法令を遵守するとともに、より高い基準に基づいた人権尊重の取り組みを推進します。

2. 適用範囲

本方針は、リョービの全役員及び全ての形態の社員（正社員、契約社員、派遣社員、嘱託社員、パートタイマーを含む）に適用されます。また、サプライヤー、ビジネスパートナーを含む全てのステークホルダーに対し、本方針への理解と支持を求め、協働して人権尊重に取り組むことを期待します。

3. 人権尊重の重点課題

リョービは、事業活動における以下の人権に関する重点課題に取り組めます。

差別の禁止：「リョービ自主行動規準」において、リョービでは人種、信条、国籍、性別、性的指向、性自認、年齢、宗教、身体的特徴、財産、出身地等の理由で一切の嫌がらせや差別を行わず、健全な職場環境を実現します。

ハラスメントの禁止：あらゆるハラスメントについては決して許容することなく、厳正に対処します。

強制労働・児童労働の禁止と責任ある調達：リョービは、強制労働、児童労働、人身売買など、非人道的な行為や労働を一切行いません。また、サプライチェーンにおいてもこれらの行為を認めません。更に、リョービは、紛争鉱物（武力紛争や人権侵害に加担するおそれのある地域で採掘される鉱物）が、児童労働、強制労働、環境破壊といった深刻な人権侵害や非人道的な行為に間接的または直接的に関与するリスクがあることを認識しています。この認識に基づき、いかなる非人道的行為への加担も回避するため、責任ある鉱物調達に取り組めます。

労働条件と労働環境：労働関連法規を遵守し、安全で衛生的な労働環境を確保するとともに公正な賃金、適切な労働時間、及び適切な休日・休暇を保障します。

結社の自由と団体交渉権の尊重：社員の結社の自由及び団体交渉権を尊重します。

多様性の尊重とインクルージョンの推進：個人の多様性を尊重し、それぞれの個性と能力を活かせるインクルーシブな職場環境づくりを推進します。

4. 人権デュー・ディリジェンスの実施

「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、リョービの事業活動及びサプライチェーンにおいて、人権への負の影響を特定し、その予防、軽減、是正に継続的に取り組めます。

5. 救済措置

リョービの事業活動が人権への負の影響を引き起こした、または助長したことが明らかになった場合、国際的な規範に基づき、適切な手続きを通じてその是正を図ります。人権に関する通報や苦情を受け付けるための相談窓口を設け、関係者がアクセスできるように努めます。

6. 教育・研修

本方針が全ての役員及び社員に浸透し、効果的に実行されるよう、適切な教育・研修を継続的に実施します。

7. 対話と情報開示

人権尊重の取り組みの推進にあたり、ステークホルダーとの対話を重視し、取り組みの進捗状況及び結果について、ウェブサイト等を通じて適切に開示します。

2026年3月25日制定

リョービ株式会社